

# Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、  
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

## 2026年6月期 第1四半期決算説明資料

フィーチャ株式会社（東証グロース4052）

2025年11月14日

## 売上高

**95 百万円**

前年同期比 20.5% 減

## 営業利益

**▲29 百万円**

前年同期は ▲7 百万円

## 主要ハイライト

- ▶ 受託開発収入は、大手自動車メーカーとの共同開発案件の開始に遅れが生じており、減収  
└ 3Q以降の開始に向け協議中
- ▶ ライセンス収入は、新車向け車載カメラライセンスの量産が好調だったため、増収  
└ 当社ライセンス製品の累計販売台数は310万台を突破
- ▶ 新規DX-AI関連のプロジェクトにつき引き合い多数  
└ 特に、図面解析AI「Drawing-AI」の引き合い増加
- ▶ 経営効率の観点から、研究開発拠点を本社に集約し、中国北京子会社の清算手続きを開始  
└ 2025年10月解散決議、必要な手続きが完了次第清算

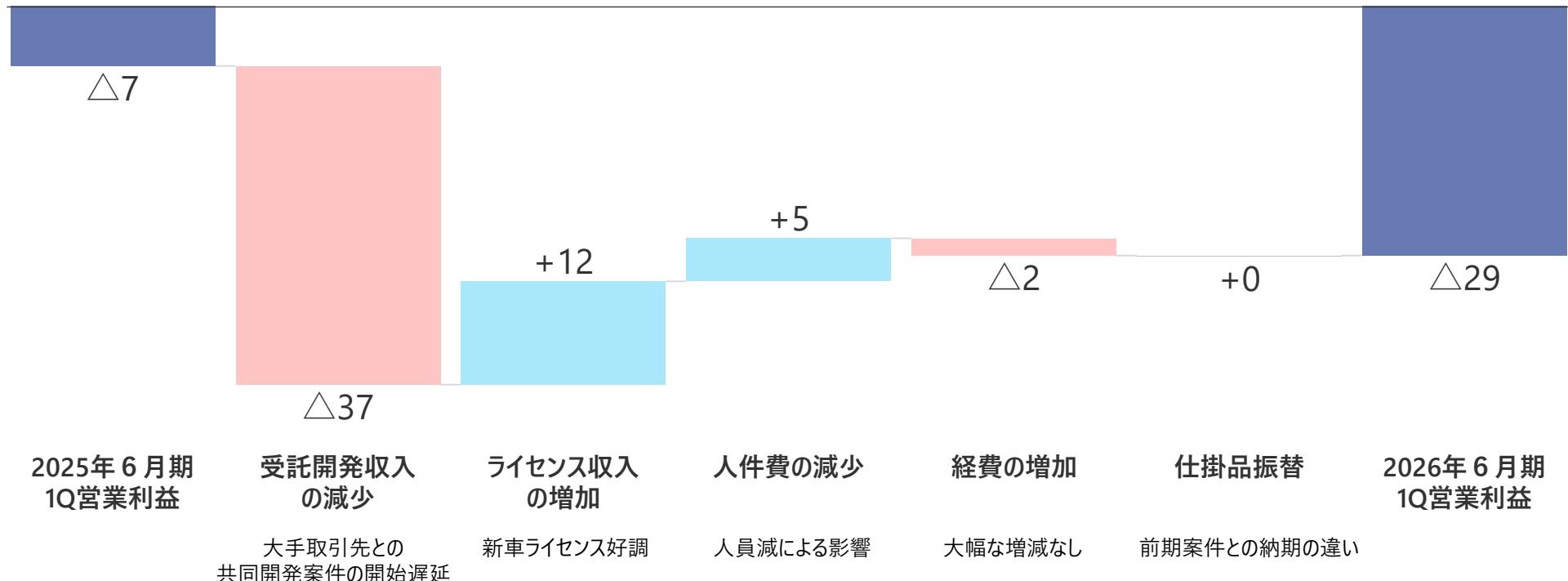
- 受託開発収入は、大手自動車メーカーとの共同開発案件に遅れが生じており、減収
- ライセンス収入は、新車向け車載カメラライセンスの量産が好調なことにより、增收

(単位：百万円)

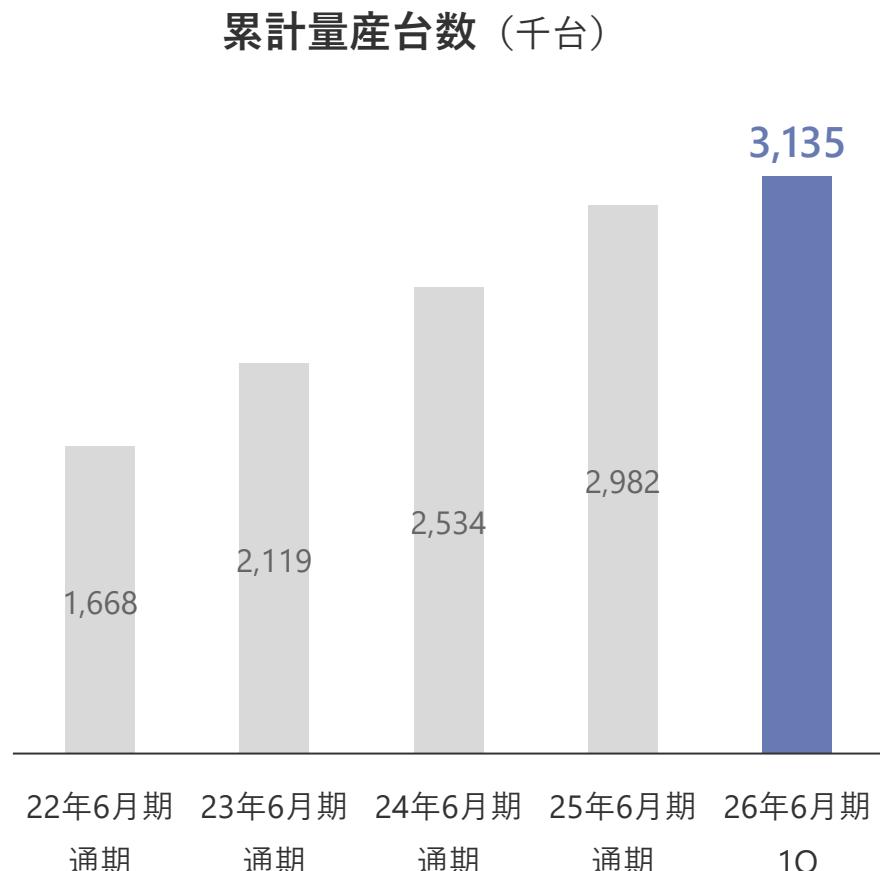
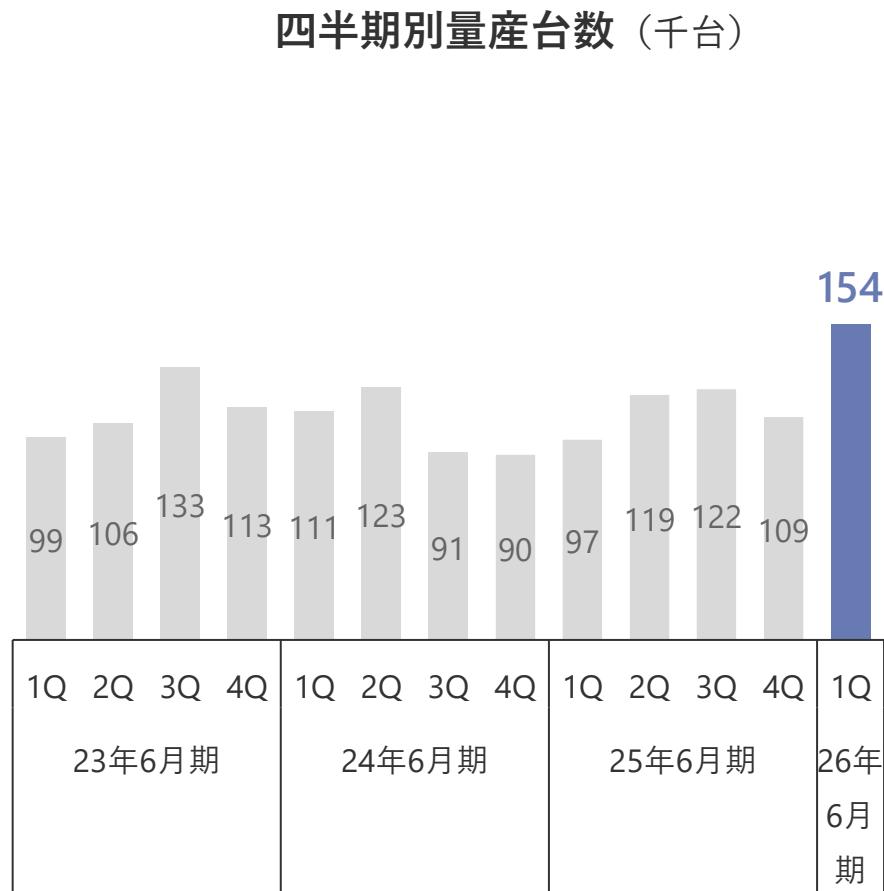
|                     | 2025年6月期 | 2026年6月期 |        |      |       |
|---------------------|----------|----------|--------|------|-------|
|                     | 1Q実績     | 1Q実績     | 前期比    | 通期予想 | 進捗率   |
| 売上高                 | 120      | 95       | △20.5% | 540  | 17.7% |
| うち、受託開発収入           | 83       | 46       | △44.1% | 395  | 11.8% |
| うち、ライセンス収入          | 36       | 49       | +32.7% | 145  | 33.8% |
| 売上原価、販管費            | 127      | 125      | △2.0%  | 523  | 23.9% |
| うち、人件費              | 80       | 75       | △6.3%  | 323  | 23.5% |
| うち、経費               | 46       | 49       | +5.8%  | 200  | 24.6% |
| うち、仕掛品振替            | 0        | 0        | —      | —    | —     |
| 営業利益                | △7       | △29      | —      | 17   | —     |
| 経常利益                | △7       | △29      | —      | 17   | —     |
| 親会社株主に<br>帰属する当期純利益 | △8       | △29      | —      | 14   | —     |

共同開発案件の開始遅延に伴う受託開発収入の減少により、赤字幅が拡大

(単位：百万円)



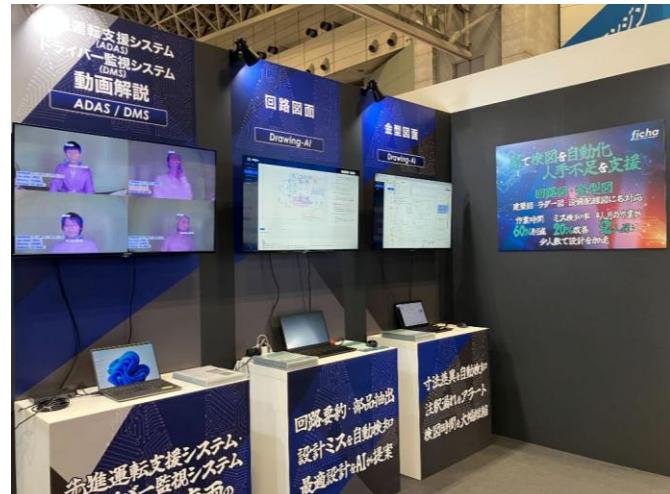
## 当社ライセンス製品の新車向け車載カメラの量産が好調



展示会出展により、多数のリード顧客を獲得  
売上拡大に向け、拡販力を強化

## 主な展示内容

- **Drawing-AI (図面解析AI)**
    - └ 新機能：金型図面の寸法設計エラー自動検知
    - └ 回路図面・金型図面の構造化・検索・再利用
  - **Mobility Solutions**
    - └ ADAS：車線検知・歩行者検出など
    - └ DMS：いねむり検知・危険運転検出など
  - **その他AIソリューション**
    - └ AI-OCR (文書解析AI)
    - └ 工場内危険行為自動検知



金型図面の寸法設計エラー自動検知機能をリリース  
Mobility Solutionsで培ったAI技術を製造業向けへ展開



## 現状の課題

- ・ 検図に多大な時間
- ・ 熟練者の知識に依存
- ・ 人的ミスの発生



## 解決策

- ・ 基本要素の自動解析
- ・ 加工指示の認識
- ・ 寸法、面取りの自動検出



## 導入効果

- ・ 検図時間大幅短縮
- ・ 手戻り作業の低減
- ・ ノウハウの標準化



設計初期でのミスを未然に防ぎ、製造現場の品質向上と作業時間の大幅短縮に貢献

(単位：百万円)

|            | 2025年6月期 |       |       |       | 2026年6月期 |    |    |    |
|------------|----------|-------|-------|-------|----------|----|----|----|
|            | 1Q       | 2Q    | 3Q    | 4Q    | 1Q       | 2Q | 3Q | 4Q |
| 売上高        | 120      | 126   | 157   | 93    | 95       |    |    |    |
| うち、受託開発収入  | 83       | 87    | 115   | 53    | 46       |    |    |    |
| うち、ライセンス収入 | 36       | 39    | 41    | 39    | 49       |    |    |    |
| ※売上原価      | 46       | 45    | 51    | 36    | 35       |    |    |    |
| 売上総利益      | 73       | 80    | 106   | 56    | 60       |    |    |    |
| (粗利率)      | 61.4%    | 63.8% | 67.5% | 60.6% | 63.4%    |    |    |    |
| ※販管費       | 81       | 80    | 73    | 91    | 90       |    |    |    |
| うち、研究開発費   | 30       | 29    | 24    | 40    | 33       |    |    |    |
| 営業利益       | △7       | 0     | 32    | △35   | △29      |    |    |    |
| (営業利益率)    | –        | 0.1%  | 21.0% | –     | –        |    |    |    |

|           |     |     |     |     |     |  |  |  |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|--|--|--|
| ※原価+販管費合計 | 127 | 126 | 124 | 128 | 125 |  |  |  |
| うち、人件費    | 80  | 74  | 74  | 75  | 75  |  |  |  |
| うち、経費     | 46  | 51  | 48  | 48  | 49  |  |  |  |
| うち、仕掛品振替  | 0   | 1   | 0   | 3   | 0   |  |  |  |

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、さまざまなものリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、本資料公表日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではございません。

## IRに関するお問い合わせ先

フィーチャ株式会社 管理部

E-Mail : [management@ficha.jp](mailto:management@ficha.jp)